

# 一般質問



武藤 康史（市民クラブ未来）  
黒浜3号緑地整備について

**問** 住民への最終的な整備計画と安全性の説明をいつまでに行うのか。

**答** 10月末までに安全性データ・整備項目・工事完了時期について近隣住民に文書で説明し、ご意見やご要望を聞く機会を設けます。

**問** 今後、大雨や地震によって斜面が崩れた場合等には、再調査や補強などの対応を行うのか。

**答** 災害時や市民に損害が生じた場合は市の安全責任のもとに対応し、安全管理に努めます。

## 令和6年度予算編成に向けて

**問** 集客力の高い上り線蓮田サービスエリアについて、都心旅行者のニーズを熟知する専門家等も加えた新たな検討チーム組成や市外からのプロポーザル募集を検討



黒浜3号緑地

今定例会では、18人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ議長に対して質問事項を通告し、執行部は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

討してはいいかがか。

**答** チーム組成は考えていません。振興計画の土地利用構想に基づき、庁内で検討していきます。

**問** 小中学校設備の改修・整備について、PFIなど民間財源を活用して短期間に一括整備する方式を真剣に検討すべき時期に来ているのでは。

**答** そのような施策の検討を行う時期に来ていると考えます。

※ほかに、高齢者福祉、再生可能エネルギー利用促進、市民接点でのDX推進について質問。

## 市長の政治方針について

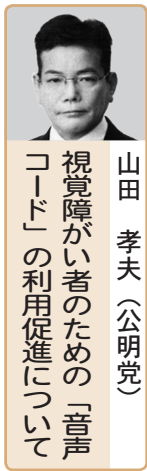
**問** 令和7年度末までに最も注力し前進させたい政策は。

**答** 市長として掲げた政策はどれも重要なもので優劣は答えかねます。

**問** 市長として政策の優先順位を判断する場合の根拠とする指標・考え方は。

**答** 市民の望む施策は人により異なるため特定の判断基準はありません。市政は総合判断で行っています。

※ほかに、ゼロカーボンシティ宣言、シビックプライド醸成、財源多様化の検討などについて市長答弁あり。



山田 孝夫（公明党）  
視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進について

**問** 音声コードの認識と現状は。

**答** 視覚障がい者の多くは、主に音声や拡大文字によって情報を得ていることから、音声コードは重要と認識しています。

**問** 利用促進の考えは。

**答** 視覚障がい者の情報保障につながることから、まずは障がい福祉に関するパンフレット等へ音声コードの活用を検討していきます。

## 投票環境の整備について

**問** 投票支援カードを導入し、ホームページからダウンロードできるようにするのはいいかがか。

**答** 投票支援カードはスムーズな支援になると考え、検討していきます。

**問** 投票入場券に音声コードを付与する考えは。

**答** 音声コードを活用している事例があるので、導入している自治体の運用方法を調査研究していきます。

## 学校図書館と新聞の活用について

**問** 各小中学校の「学校図書館図書標準」の達成状況は。

**答** 令和5年4月現在、小学校6校、中学校1校が達成しています。全校達成に向けて取り組んでいきます。

**問** 新聞の配備状況は。

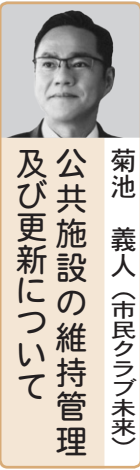
**答** 令和5年8月末現在、配備されている学校が11校です。（文部科学省規程では小学校2紙・中学校3紙）

**問** 図書購入額の総額と児童・生徒一人あたりの額は。

**答** 令和4年度、図書購入費約316万6000円、一人当たり約770円です。（読売新聞調査による全国平均は、小学校1517円、中学校1938円）

**問** 学校図書費増額の考えは。

**答** 増額に向けて、関係各課と調整し、着実に進めていきたいと考えています。



菊池 義人（市民クラブ未来）  
公共施設の維持管理  
及び更新について

**問** 小学校・中学校のトイレ洋式化について、学校のトイレは早急に洋式化率100%にしなければならぬと考えるが、小学校施設長寿命化計画と公共施設個別施設計画はいつ見直しを行うのか。

**答** おおむね5年を目安に見直しを検討していきます。

**問** トイレ洋式化を早期に一斉に実現するためにはPFI制度を活用して行うかどうか。教育長に伺う。

**答** PFIの実施に当たっては詳細で十分な時間をかけた準備と研究を要することも課題であると考えています。教育委員会ではさまざまな有効な手法を検討し、各学校の実情を踏まえながら洋式化を早急に進められるよう考えていきます。

**問** 公園・運動場の維持管理について市内の公園にあるトイレ25箇所のうち和式トイレは何箇所残っているか。

**答** 6箇所です。

**問** 市内の運動場に仮設のトイレは何箇所あるか。

**答** 閩戸運動場に1基、小学校予定地運動場に2基、トーモクグラウンドに2基あります。

**問** 造園業者に委託している公園は年に何回除草を行っているか。

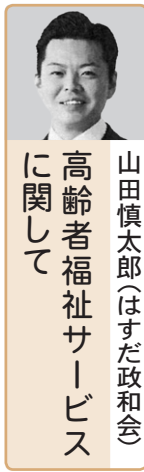
**答** 年3回を基本にしています。

**問** 除草回数を増やす必要があると思うが、市の考えは。

**答** 今後は除草予算の確保にも努めていきます。

**問** 公園・運動場の管理に関してはPFI、Park-PFI、指定管理者制度などを複合させ、現在よりさらに良質な公共サービスの提供及びコストの削減などについて検証をしようか。副市長に伺う。

**答** 県内でもPark-PFIを採用している自治体があるので、先進事例を参考にしながらPark-PFIを含め、さまざまな官民連携による質の高いサービス提供の手法について研究します。



山田慎太郎（はずだ政和会）  
高齢者福祉サービス  
に関して

**問** 訪問理美容サービスの今後の取り組みは。

**答** 蓮田市生活支援体制整備事業「協賛体」において、「蓮田市配達・訪問サービス便利帳」を作成し、配布しています。今後は、改訂版の便利帳を活用しながら、必要な情報提供に努めていきたいと考えています。

**はすだ市民まつりに関して**

**問** 今後の取り組みは。

**答** 課題について検討・対策を行い、はすだ市民まつりがよりよい形で開催できるように考えています。市役所の敷地を会場とし、小規模かつ日中のみで実施するのであれば費用を節減できるといった利点がありますが、来場者の会場までのアクセス、駅周辺の市街地の賑わいなどについては課題となる部分があるかと思われれます。また、はずだ観光協会の会員の皆様はそれぞれ仕事を抱えている方がほとんどであり、事務局である商工課も観光以外の業務と並行して行っています。はずだ観光協会、市を含む関係6団体で、来場者に喜んでもらうことを第一としたお祭りを検討していくことが必要と考えます。

**蓮田駅西口における防災設備に関して**

**問** 消防団などの団体へレクチャーなどを実施する予定は。

**答** 今年度、水の入れ替えを予定している。その際に消防団を対象としたマンホール蓋の開閉方法等の研修を予定しています。その際、災害用浄水器についても操作方法を説明し、消防団に対して周知を図っていきます。



関根 香織（はずだ政和会）  
子どもの熱中症対策

**問** 登下校中の熱中症対策として、改めて各学校に対し、携行品削減を求めるときと考えるのがいかがか。

**答** 各学校に持ち物の削減について、周知していきます。

**問** 夏休みの熱中症対策として、中学校における自転車通学の弾力的な対応が進むよう、市から各学校に推奨してはいいか。

**答** 交通安全面の確保や部活動の状況に応じて判断するよう、各校長にお願いしていきます。

**問** 子どもたちの夏場の活動環境に格差が生じないよう、体育館のエアコン導入を判断すべきと考えるのがいかがか。

**答** 校舎の老朽化対応、トイレの洋式化、給食室の環境改善に早急に取り組みたいと考えていますので、その中で体育館のエアコン設置も検討していきます。

**子ども・青少年向けの公共施設の今後のあり方**

**問** 今後、駅東口の住宅開発が短期間で進むことが見込まれるが、学校施設の運営における市の対策はいかがか。

**答** 児童・生徒数が増えていく可能性もありますが、転用可能な教室の中で学級増については対応できます。

**問** 待機児童が生じている学童保育所では、来年度の希望者数によつては、更に深刻な状況となる可能性があるが、待機




児童に対する確保方策はいかがか。

**答** 蓮田南小学区の学童保育所は、緊急的に確保をする必要があると考えています。

**問** 今年の夏の猛暑を受けて、多様な世代が気軽に集える全天候型の公園のような屋内施設を整備する必要性を感じた。市長の考えはいかがか。

**答** 今年のような夏が続くのであれば、全天候型の遊び場や居場所を自治体として考えていく日があるのではないかと思っています。



**鈴木貴美子（公明党）**  
水道管路劣化対策について

**問** 人口減少による料金収入の減少、人材不足や水道技術の喪失、また水道施設の老朽化など厳しい事業環境の中、効果的な管路更新が必要。自然災害が激甚化、頻発化する中、強靱な水道の構築は急務。AIを活用して水道管の劣化を予測し、費用を抑えて、効率的な管路更新を進めていくのはいかがか。

**答** 現在、管路の更新については、重要管路の更新を優先的に取り組んでいます。AI管路劣化診断等の先端技術の活用は、近年水道業界でも注目され、国からも先進性が認められていることは認識しています。先進自治体を参考にしながら、費用対効果を踏まえ、先進技術について研究していきます。

### 公用車等のドライブレコーダーを活用したまちの見守りにについて


**問** 近年、あおり運転の被害や交通事故等の証拠として、ドライブレコーダーを設置する車両が増えている。市民の暮らしの安全・安心に資する早急な取り組みが必要。公用車等のドライブレコーダーを「動く防犯カメラ」として活用し、まちの見守り体制の充実・強化のために、ステッカー等を貼るのはいかがか。

**答** ドライブレコーダーが搭載されている車両を、対外的に大きくアピールすることは、見守りや犯罪抑止に一定の効果があると考えます。まずは、公用車にステッカー等を貼ることに、積極的に検討していきます。

※ほかに、新機能自販機リサイクルボックスの公共施設への設置について質問。



公用車に設置のドライブレコーダー




**湯谷百合子（無会派）**  
市内中学校いじめについて

**問** 蓮田市総合振興計画の中で「市民の視点に立った行政運営をする」との記載があるが、「市民」とは、どのような人を指すのか。

**答** 住民、通勤、通学する人、その他活動する人など、地域活動を活性化するための多様な主体と捉えています。

**問** 市は今まで、サブアリーナを利用する人など賛成の声ばかり聞いています。市民の中には、学校体育館の断熱や空調、トイレ等の設備改修、また高齢者人口増に応じた施策などを優先すべきという声もあ。住民説明会を開催し、市民の声を聞くべきではないか。市長に伺う。

**答** 市民の代表である議会が建てることを議決したので粛々と行うのみです。



**秦 邦雄（無会派）**  
公共施設等の管理計画について

**問** 建築物等の公共施設や道路・橋りょう等のインフラ施設については老朽化がかなり進んでいるが、これらに関する管理計画についての課題は。

**答** ①経年劣化への対応として、単に更新（立て替え等）するのではなく長寿命化（構造躯体の健全性を維持し、物理的な耐用年数近くまで建物を使用すること）を基本とし、施設によっては更新を検討する必要があること、②人口減少、高齢化社会の進展といった人口構造の変化や市民ニーズの変化に対応したきめ細かな公共サービスの提供が求められること、③中長期的なトータルコストを縮減し予算を平準

**問** 令和3年度、県内の小中高校で起きたいじめ件数は3万874件、うち重大事態は40件。多くのケースでは、きちんと問題に向き合って解決している。市内中学校が早期解決できずに重大事態に至ったことは、いじめ防止対策推進法に基づいた「適切かつ迅速に対処すること」を怠った、不適切な対応と言えるのではないか。

**答** 調査中なので、答弁は控えさせていただきます。

**問** いじめの重大事態を調査する市の「いじめ問題専門委員会」の委員7人を全員入れ替えることになったが、6月議会では7人の委員は全員専門知識があり、文科省のガイドラインに照らして問題ない」との答弁だった。新しい委員は弁護士2名、臨床心理士2名。委員を入れ替えることになった理由は。

**答** 新たな視点と保護者の要望。また、法律の専門家がいなかったことです。

### 市民の視点に立った行政運営の実施について

**問** サブアリーナ増築について、平成23年提出の要望書は、令和の現在に市民要望とするには不適切。直近の市民の声をどのように聞いたのか。

**答** 要望書だけではなく、市議会での継続的な一般質問や、各種団体の代表からなる「検討会議」などは、市民の声が反映されたものと考えています。

化するため、長寿命化を図り予防保全型維持管理を推進する必要があります。

**問** 施設の老朽化の現状は。

**答** 多くの施設が築30年から40年が経過し、建物本体や付属設備の経年劣化が進んでいます。

**問** 工事費価格の上昇の状況は。

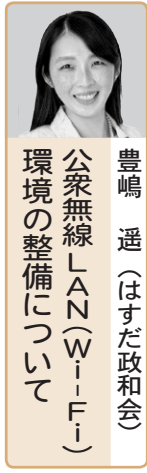
**答** 平成28年度に作成した管理計画と比べ、パルシーの大規模改修の工事概算費は約6億円増の約20億円に、一般道路の維持補修計画単価は4700円/㎡から8100円/㎡に上昇しています。

**問** 公共施設等の管理計画に要する費用は。

**答** 管理計画では、令和3年度からの30年間で長寿命化等を図っても約758億円が必要であり、不足見込み額は約244億円となっています。

**問** 財政状況や市民生活への影響等、施設等の在り方を市民が判断するに際して適切な情報提供が重要と考えるが。

**答** 本計画の進捗状況に関しては、ホームページによる公開を行っています。



豊嶋 遥 (はすだ政和会)  
公衆無線LAN(Wi-Fi)  
環境の整備について

**問** 蓮田市の現状は。

**答** 防災用Wi-Fiは、市役所2階に1台、避難所となる図書館、中央公民館、勤労青少年ホーム、農業者トレー

ニングセンター、コミュニティセンター、環境学習館に各1台、その他、文化財展示館、西新宿会館に各1台。合計9台設置しています。

(ソフトバンクのWi-Fiスポットは最大通信速度112.5Mbps)

防災用のWi-Fi以外では、西口行政センターの2階に導入しています。(キガらくWi-Fiの最大通信速度は1.3Gbps)

**問** 自治体Wi-Fiの導入をしてはいいかがか。

**答** 蓮田市では、災害時対応を目的として、公共施設にWi-Fi機器を設置しています。公共施設への災害目的以外のWi-Fi機器の設置については、それぞれの公共施設における住民ニーズを踏まえ、その必要性やセキュリティ面での安全性、費用対効果等も勘案した上で研究します。



### ふるさと納税について

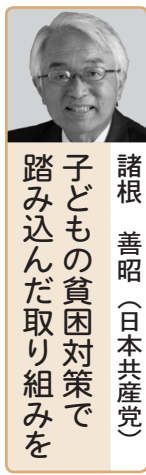
**問** ふるさと納税対応ポータルサイトを拡充してはいいかがか。(現在は、「ふるさとチョイス」「さとふる」の2サイトに対応)

**答** 現在、新たなふるさと納税ポータルサイト「楽天ふるさと納税」の導入を検討しています。

**問** ふるさと納税記念品(返礼品)の拡大に向けた取り組みは。

**答** 今年度は、「さとふる」が提供する「PayPay商品券」の加盟店を募集するため、蓮田サービスエリア上り線内のパサル蓮田各店舗を訪問し、参加事業者があつたので導入を進めます。体験型返礼品の取り扱いをしてはいいかがか。

**答** 体験型返礼品は、市に直接来ていただくことで経済的な相乗効果を生む可能性もあり、新たな返礼品の提供は重要であると考えています。 ※ほかに、蓮田市防災会議について質問。



諸根 善昭 (日本共産党)  
子どもの貧困対策で  
踏み込んだ取り組みを

**問** 子どもの貧困は深刻との認識はあるか。

**答** 児童扶養手当は横ばい、就学援助は増え続けており、市の手当等の受給件数は今後増加することが予想されます。学習支援事業の参加者を増やす努力をしてはどうか。

**問** 関係課と情報共有、連携を強化し、必要な支援が届くよう努めます。

**答** ジュニア・アスポート事業を週3回程度に増やせないか。

**問** 財源や会場確保が課題、事業の重要性は認識しており、事業の充実について研究していきます。

**答** 子ども食堂に対して市として利用しやすい補助金を交付してはどうか。

**問** 近隣他市町の状況を把握し研究します。

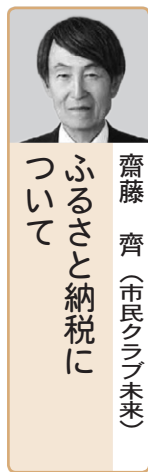
**答** ジェンダー平等を貫く市職員の人事を

**問** 女性管理職員の割合の変化を問う。

**答** 女性管理職は、平成2年4月1日時点で女性は0人でした。平成10年4月1日時点で女性は7人で割合は5.7%。平成18年4月1日時点で女性は9人で割合は6.5%。平成27年4月1日時点では女性は21人で割合は13.5%。令和5年4月1日時点では女性は36人で割合は25.9%となっています。

**問** 蓮田市特定事業主行動計画の管理的地位にある職員に占める女性職員の割合の数値目標30%を50%に引き上げる考えは。

**答** 数値目標を50%に引き上げることはいいと思います。ジェンダー平等を貫く市職員の人事については趣旨をしっかりと踏まえて役立てていきます。



齋藤 齊 (市民クラブ未来)  
ふるさと納税に  
ついて

**問** 個人からの蓮田市への寄付額の累積額は。

**答** 平成30年度から令和5年9月現在、約5500万円です。

**問** 他自治体への寄付額は。

**答** 令和4年度は約3億3400万円です。



**問** 企業版ふるさと納税で、これまでの件数と累積額は。

**答** 令和4年度から受け入れを開始し、昨年度は500万円、令和5年度は9月現在で100万円、累積額は600万円です。

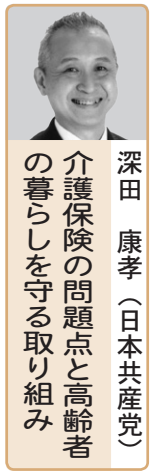
**問** 返礼品で寄付額が決まってしまう個人からのふるさと納税よりも、返礼品の支給がない企業版ふるさと納税の方が寄付額が多く、新たな自主財源の獲得には向いているのでは。

**答** 企業版ふるさと納税は、寄付した企業の税制上の優遇措置や寄付した企業はPRができるとともに、市としては寄付額全体が財源として利用できる、あらゆる機会を捉えて募集を積極的に行い、寄付額の増加につなげていきます。

**問** 群馬県前橋市は企業版ふるさと納税について制度を知らない企業もあるため、制度を紹介する市長直筆の手紙を送付した。手紙の効果もあつて寄付の受入額は、令和2年度の10万円から令和3年度には3.8億円と大幅増となった。

茨城県境町の町長も営業に工夫を加えてトップセールスを行い、税収の1割ほどにあたる3億円から4億円程度を毎年安定して獲得した。平成28年の制度開始以来、令和3年度までの累積で17億円集め企業版ふるさと納税では全国3位の成果をあげた。特段全国的に名の知れた名産品、特産品のない蓮田市にとって、企業版ふるさと納税で大きな自主財源の獲得に成功している前橋市長や境町町長のやり方は参考になるのではないかと。市長の考えを伺う。

**答** やりやすさとはいいかねますが、頑張ります。



深田 康孝（日本共産党）  
介護保険の問題点と高齢者の暮らしを守る取り組み

**問** 高齢者にとっては、介護サービスを受け入れられないことでの体調に与える影響は、小さくないと考えます。利用料の負担を理由に適切な介護サービスを躊躇してしまわないように、市として出来ることは、介護保険料と利用料の軽減です。利用料軽減制度の改善と拡大をすることを求めますが、市長の考えは。

**答** 必要な介護サービスを受けられないという状況があつてはならないと認識しています。しかし、低所得者への補助は、介護保険の枠組みを超えて、市の独自事業として全額一般財源からの支出となるので、軽減予定はありませんが、個別相談をしっかりと受けて、必要な介護サービスが出来るよう支援していきます。引き続き、制度の研究もしていきます。

**問** 市民は、物価高騰・年金生活で大変です。基金を使って介護保険料の軽減を図ることにしている市長の考えは。

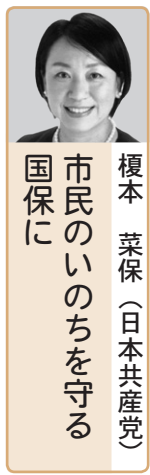
**答** 高齢者の負担を減らすための、基金の活用については、毎月の給付費等をみながら十分に検討していきます。



### 生活保護世帯の熱中症対策について

**問** 生活保護世帯のエアコン購入費については、市民の命を守るため、今の特別な事情としてのきわめて狭く範囲を限定するのではなく、広く認めるように国に求めるべきと考えますが、市長の考えは。

**答** 県や国に10年前とは状況が違うというところを、機会をとらえて伝えていき、生活保護制度の中でどういったものができるのかを求めていきたいと考えています。



榎本 菜保（日本共産党）  
市民のいのちを守る国保に

**問** 国保は、誰もが医療を受けられる国民皆保険制度を支える最後の受け皿にもかかわらず、無職や非正規雇用の加入者が多く、所得に対する税負担割合が他制度と比べて高いという大きな問題がある。「国保は社会保障」との観点から、市としてどう国の政治の防波堤となり、加入者の負担に配慮し、施策を打つかが大切。市独自で法定外繰入を新たに行い、18歳までの子ども均等割減の実施を求めるがいかがか。

**答** かつて市も法定外繰入は行っていました。したが、国保の負担とサービスの統一に向けて、県内全市町村が取り組みを進める今、市が単独で新たな減免制度を始めたり、法定外繰入を増額することは難しい状況です。

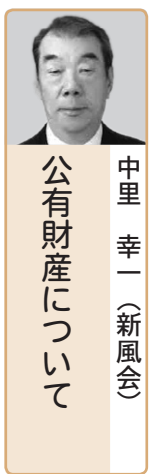
**問** 国保の財政基盤安定化に必要とされる国による1兆円規模の財政支援の拡充に対する国への提言を求めるがいかがか。

**答** 全国市長会にて今年6月、財政支援の継続拡充や、子どもに関わる均等割保険料軽減支援制度等について、必要な財源の確保・制度拡充を国へ求めたところで、引き続き、機会を活用し、国に対して提言していきます。

### 子どもたちの命を守る小中学校の暑さ対策を

**問** 地球沸騰の時代が到来。今年の夏は猛暑で熱中症の危険が高まった。市内小中学校の全教室でエアコンが導入されたが、古くからの校舎はコンクリート製で断熱対策がほとんどおらず、エアコンが効かない等、子どもたちにとって過酷な状況があつた。また、体育館や給食棟の一部はエアコンすらなく、断熱対策もされていない。国の補助金も活用し、換気対策とともに、断熱対策とエアコン設置を求めるがいかがか。

**答** 断熱改修、エアコン設置等、早急な対応については必要性を認識しています。今後調査研究をしていきます。



中里 幸一（新風会）  
公有財産について

**問** 公有財産の取得は原則売買で行うと認識しているが、現状では賃借の場合もあるのか。基準はどのようなものなのか。

**答** 現状では賃貸もあります。貸付け等については地方自治法で定められていて、使用料については条例の規定に基づき算定しています。

借り受け等については蓮田市の規則で定め、賃借料の算出については内規に基づき算出しています。

**問** 公有財産の今後の考えは。

**答** 賃借している行政財産については相手方の意向を考慮し取得に向けて検討していきます。普通財産の管理や活用方法については、今後も検討していきます。

### 道路整備事業について

**問** 県道蓮田鴻巣線の整備進捗状況は。

**答** 用地取得事務を受託して5年目となるが、令和4年度までに取得済みの画地は10画地です。今議会上程されている分を含めると、29区画地中14画地となります。

**問** 第一岩槻踏切の歩道拡幅整備の対応と進捗状況は。

**答** 事業主体が埼玉県なので県がJR東日本と協議し、測量を行い歩道設計を進めていると杉戸県土整備事務所から聞いています。市としても県の要請に応じ必要な協力をしていきます。

**問** 市道56号線（蓮田駅西口通線）整備事業の進捗状況及び今後の展望と対策は。

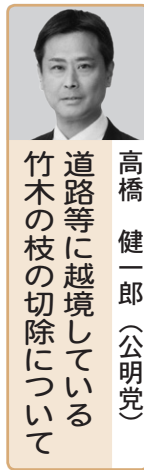
**答** 蓮田駅西口通線の整備区間は延長約440mの区間ですが、事業用地取得率は全体の8・6%です。今後も丁寧な交渉を行い事業の進捗を上げるよう努力していきます。

**問** 整備済み区間260mの有効活用は。

**答** 市内の他の課と連携して有効活用できるよう検討します。

**問** 道路側溝の雨水対策について。

**答** 道路が冠水する状況はおおむね1時間当たり20mm以上の雨量が続いた場合発生する可能性があると考えます。側溝の清掃や蓋をグレーチングにする等、被害軽減に向けて取り組みます。



高橋 健一郎（公明党）  
道路等に越境している  
竹木の枝の切除について

**問** 民地内の竹木切除について、市の強制切除の条件を伺う。

**答** 越境した竹木については、民法改正により、市から催告をした上で切除が可能となりました。しかし、民有地の竹木は土地所有者による管理が原則となります。強制切除については、緊急性や必要性を考慮し、必要最低限の範囲に留めるべきと考えています。今後の対応として、道路の通行が著しく阻害されている場合には、地域のご意見や現地の状況等により総合的に判断していきたいと考えています。

### 熱中症対策について

**問** 電気代が高騰する中、エアコンを控える熱中症弱者と言われる高齢者等に適切な支援として、省エネ家電買替促進補助金を市でも導入してはどうか伺う。

**答** 電気代の高騰や環境問題、熱中症対策は、国や県の動向に注視し、近隣市町の取り組みについても、調査研究します。

**問** 小中学校の体育館に、エアコンを設置してはどうか伺う。

**答** 体育館の断熱性能が非常に低いいため、体育館の改築や断熱改修を行う必要があります。また、電気代を含む維持管理費が課題です。



関根 守男（ほすだ政和会）  
企業立地について

**問** 国道122号沿線のうち根金地区周辺で進んでいる都市計画法の区域指定制度を活用した企業立地について、指定の経緯や区域面積は。

**答** 平成27年10月に蓮田市都市計画マスタープラン改定に合わせ区域を指定しました。区域面積は約106ヘクタールです。

**問** これまでの立地件数、面積は。

**答** 開発許可件数6件、面積は合計で約13ヘクタールです。

**問** 雇用者は何人増えたか。

**答** 10社のうち5社から回答があり、その合計は276人でした。

**問** 市への税収効果はどのくらいか。

**答** 固定資産税、法人市民税、個人市民税、譲渡所得税等で税収増となりました。令和4年度の固定資産税は令和3年度比で2億2000万円強増加しました。

**問** ワンストップ窓口での対応状況は。

ホームページで  
会議録が閲覧  
できます



<https://www.city.hasuda.saitama.jp/>

議案の審議内容や一般質問などを詳しくお知りになりたい場合は、市議会会議録がホームページでご覧いただけます。これまで市役所などの公共施設に備えてあった会議録は、今までと同様に次の施設でご覧になります。

- 市役所行政資料コーナー
- 蓮田駅西口行政センター
- コミュニティセンター
- 農業者トレーニンングセンター
- 図書館
- 中央公民館及び関山分館
- 勤労青少年ホーム



**答** 産業団地整備課において、相談内容に応じ課題整理を行い支援しています。根金地区以外でも区域指定制度を活用して企業立地を進めてはどうか。

**問** 総合的に検討します。

**蓮田市障がい者基本計画、蓮田市障がい福祉計画・蓮田市障がい児福祉計画（かがやきはすだプラン）について**

**問** 現計画の主要な成果は。

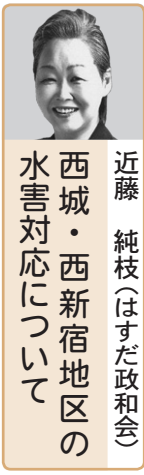
**答** 今年3月にはなみずき作業所が完成し、4月から通所を開始しています。計画どおりの成果をあげ、サービスの充実につながっています。

**問** 次期計画の策定の時期は。

**答** 今年度中の策定を予定しています。

**問** 新たな取り組みを考えているか。

**答** 施設入居待機者が年々増加傾向であることから、施設入居者の地域生活への移行を進めながらも入所施設整備を掲げていきたいです。



近藤 純枝（はすだ政和会）  
西城・西新宿地区の  
水害対応について

**問** 西新宿地区第一排水機場の水門・ゲート新設の進捗状況と今後の見込みは。

**答** 現状は、詳細設計業務委託が令和5年3月に完了しています。新設の位置



西新宿地区第一排水機場

は元荒川に対して斜めに流入している磯川の流れを変更してゲートを元荒川堤防に対して直角とします。課題は、埼玉県総合治水事務所と協議を継続していますが、合意まで多大な時間を要することです。市民へは、協議を終えた段階でご案内できればと考えています。

**問** 市長に災害廃棄物の仮置き場設置の検討を要望する。水害時の災害廃棄物の対応は。

**答** 「蓮田市災害廃棄物処理計画」の被災場所・避難場所等の利用状況を考慮し、市の公園施設等の公共用地に設置する予定です。

### 生活排水処理について

**問** 合併処理浄化槽維持管理の清掃・点検・法定検査の一括契約の考えは。

**答** 浄化槽保守点検業者と清掃業者の理解を得る必要があるため、まずは市と保守点検業者と清掃業者が協議する必要があります。

**不登校及び長期欠席の児童・生徒について**

**問** 蓮田市独自の支援は。

**答** 適応指導教室エコー、蓮田駅西口行政センターにおいて「親のつどい」や子どもたちが自由に過ごすためのほっとスペース「りあん」を実施しています。

**問** 子どもたちの心の小さなSOSを見逃さない支援や、COCCOLOプランによる地域の教育力を生かすには。

**答** 地域で核になるかたがたと協働し地域行事・スポーツによる健全育成など、さまざまな年代のかたがたとコミュニケーションが深まる社会づくりをとおして、地域における子どもの居場所づくりにご支援いただきたいと考えています。



木佐木 昭男（新風会）  
高齢化社会について

**問** 蓮田市における高齢化の状況は。

**答** 当市は高齢化率が高く、埼玉県の市の中では7番目、町村を含めると25番

目に高く、高齢者人口の割合は増加傾向となっております。

**問** 蓮田市の高齢福祉については。

**答** 高齢福祉サービスについて、利用者が多い主だったものに緊急通報システムや配食サービスなどがあります。

**問** 高齢者支援で大事なことは何か。

**答** 一人暮らしや要介護状態になっても、住み慣れた地域で、健康を維持し、安心して暮らし続けることができるまちづくりが大事であると考えています。

**問** 高齢者の関心ことは何か。

**答** アンケート調査では「介護保険」に関する内容が最も多く、約46%。次に「生活や家族」に関する内容で約27%、以下「認知症相談」約9%、「保健・医療に関する相談」約7%などとなっております。

### つじめについて

**問** 現状は。

**答** 埼玉県公立学校における児童生徒の問題行動・不登校生徒指導上の諸課題に関する調査において令和3年度は、令和2年度に比べて18.7%増加しました。本市においても、小中学校ともに増加の傾向がみられます。

**問** 早期発見に向けては。

**答** 定期的なアンケート調査や生活記録ノートなど、全教職員による日常の児童・生徒の様子の見守り等を実施していま

